（様式３）

以下、①から⑱の各項目について記載してください。

※総合大型プロジェクトへ提案の際は、①～⑰が必須項目となります。

※分野別大規模プロジェクトへ提案の際は、①～⑥、⑧、⑩～⑰が必須項目となります。

①「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」及び基本コンセプトに沿った内容であるか。

|  |
| --- |
| ※抽象的な概念ではなく、プロジェクトの具体的な内容と関連付けて記載すること。 |

②我が国若しくはそれぞれの分野における代表的な文化芸術プロジェクトであって、又は当該実施地域の代表的な特色ある文化芸術プロジェクトであって、国内外に発信するものとしてふさわしいものであるか。

|  |
| --- |
| ※例：世界遺産として登録されている〇〇を舞台として、無形文化遺産保持者である〇〇が演じるものであり、我が国を代表する文化芸術プロジェクトであるということができる。 |

③それぞれの分野において独自性や優位性が大きく認められる、新規性・創造性が高いプロジェクトであるか。なお、美術・文化財、舞台芸術、メディア芸術、生活文化・文芸・音楽、食文化・自然、デザイン・ファッション、共生社会・多文化共生、被災地復興等の複数分野が連携するプロジェクトであること、又は異なる時代の文化芸術を比較したプロジェクトであること等の工夫があると望ましい。

|  |
| --- |
| ※例：被災地の文化財である〇〇をステージとして、メディア芸術と古典芸能を融合した新しい日本の美を体現したかつてないプロジェクトである。 |

④文化資源を有効に活用するプロジェクトであって、新しい手法・演出や最先端技術を導入しているか。

|  |
| --- |
| ※例：これまで一般には触れることのできなかった〇〇を、実際に参加者が触れ、操る体験をすることにより、〇〇をより身近に感じることができるよう工夫を凝らしている。（等具体的な内容を記載すること）※注：「新しい手法・演出」については、これまでと異なる新たな使い方も含まれる。 |

⑤「日本博」で培ったノウハウをその後の文化芸術活動におけるレガシーとして生かして継続する観点が含まれたプロジェクトであるか。

（プロジェクト実施後において、組織体制や地域における支援体制、人材育成、ノウハウの構築など、プロジェクトの成果が文化芸術活動に具体的に活かされ、評価されうるものであること。）

|  |
| --- |
|  |

⑥下記のいずれかを満たしているか。（複数選択可）

[ ] 子供・若者・高齢者等の文化芸術活動の促進に資する取組を行うこと（企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む）。

[ ] 障害者等の文化芸術活動の促進に資する取組を行うこと（企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む）。

[ ] 多文化共生の推進に資する取組を行うこと（企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む）。

[ ] 被災地に関するプロジェクトであって、国内外の発信や被災地へ誘客する工夫がなされていること。

|  |
| --- |
| ※該当項目にチェックし、取り組みについて具体的に記載すること（複数選択可能） |

⑦文化施設、民間団体等が連携し、複数分野を一つの面的な空間又は、広域で企画・演出して行う、「日本博」

の中核となる大規模なプロジェクトであるか（分野別大規模プロジェクト提案の場合は記入不要）。

|  |
| --- |
|  |

⑧下記のいずれかを満たしているか。（複数選択可）

[ ] 訪日外国人の関心が高い内容であること等のインバウンド需要回復に資する取組の工夫がなされていること。

[ ] ストーリー性に配慮した解説をするなど訪日外国人にとって分かりやすい内容であること等のインバウンド需要回復に資する取組の工夫がなされていること。

[ ] 訪日外国人や海外への「日本博」のプロモーションのためにプロジェクト実施の映像や画像の活用を含む多言語での情報発信等が行われる等のインバウンド需要回復に資する取組の工夫がなされていること。

|  |
| --- |
| ※該当項目にチェックし、取組について具体的に記載すること（複数選択可能）。※上記例のほか、訪日外国人に需要の高い体験型プログラムを実施する、長期滞在を促進する等のインバウンド需要回復に資する工夫を行う場合についても、いずれかにチェックの上、積極的に記入すること。 |

⑨地方での長期滞在を促進する取組等を含む地方への誘客に資するプロジェクトであるか（分野別大規模プロジェクト提案の場合は該当するときのみ記入）。

|  |
| --- |
| ※例：展示において各地域の具体的な特色と見どころを示すとともに、ツアーを造成し、コンシェルジュカウンターを設けるなど、実際に現地に足を運んでいただくための組織的な体制を構築している。 |

⑩2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機に世界にアピールする観点を含む計画であるか。

|  |
| --- |
| ※東京2020Nippon フェスティバル(東京オリンピック･パラリンピック競技大会組織委員会)やTokyo Tokyo FESTIVAL(東京都)へ応募している場合には、そのことについても記載願います。 |

　　⑪「日本博」で培ったノウハウをその後の我が国・社会のレガシーとして生かして継続する観点が含まれたプロ

ジェクトであるか。

（プロジェクト実施後において、組織体制や地域における支援体制、人材育成、ノウハウの構築など、プロジェクトの成果が我が国・社会に具体的に活かされ、評価されうるものであること。）

|  |
| --- |
|  |

⑫「beyond2020プログラム認証要領」（平成29年5月26日文化庁作成）第2条の要件を満たすプロジェクトであるか。

|  |
| --- |
|  |

⑬プロジェクトの実現可能性が高いか又は実施するための実績があるか、かつ、プロジェクト実施することが可能な体制を有しているか。

|  |
| --- |
| ※年度内に事業を着実に実施・完了し、具体的な成果が得られるかなど、実現可能性について明確にご記入ください（いつ出演者と契約予定であるか、会場の確保の現状等について具体的に記載願います）。※事業実施における責任者や役割分担など、実施体制を明確化してください。 |

⑭プロジェクト内容の成熟度が高く、複数年にわたる準備が必要なものは、その計画性が示されているか。

|  |
| --- |
|  |

⑮事業実施の効果について明確な目標を設定し、地元の大学やシンクタンク等の専門機関による効果検証を行う、又は事業実施の報告等で協力する計画であるか。

|  |
| --- |
| ※「事業実施の報告等で協力する」を用いる場合は、実施団体が行う客観的効果検証の方策や質問項目等を具体的に記載してください。 |

⑯資金計画が、経費や規模の面で合理的であるか。

|  |
| --- |
|  |

⑰文化庁及び日本芸術文化振興会がプロジェクトの実施主体となる体制がとられているか。

|  |
| --- |
|  |

⑱民間の協賛金や助成金、クラウドファンディングなどの外部資金の獲得や、自己収入等を活用する具体的な取組が設定されているか。（総合大型プロジェクト・分野別大規模プロジェクトのどちらへ提案される際も、該当する場合のみ記入してください。）

|  |
| --- |
|  |